

## 掃除でお子さんの“自己有用感”を高めましょう！

今年も残りわずかとなり、年末の大掃除の時期がやってきました。掃除は、お子さんの「思いやりの心」や「自立心」、「自己有用感」を育むよい経験となります。コロナ禍でうち時間が多くなっている今、親子で一緒に掃除をして、お子さんが自ら掃除をする習慣を身に付けさせていきませんか。



しかし、掃除習慣は、すぐに身に付くものではありません。お子さんが「自分で掃除ができた」という**達成感**を味わえるように、親自身が焦らず、気長に教えていくことが大切です。以下の3つのポイントを参考に、**ぜひ親子でコミュニケーションを取りながら、楽しく掃除をして、新年を迎える準備をしていきましょう。**

### お子さんに**掃除習慣を身に付けさせる**3つのポイント

#### ① 掃除が上手くできなくても、叱ったり、怒ったりしない

お子さんが上手く掃除ができなかったり、失敗してしまったりしても、お子さんは一生懸命に親の手伝いをしています。せっかく楽しく掃除していても、叱ったり、怒ったりすると、お子さんのやる気が薄れてしまいます。物足りなさを責めずに、「こうしたらもっとうまくできるよ」と提案する声掛けを心がけましょう。

#### ② 掃除をするお子さんをたくさんほめ、感謝を伝える

「がんばってるね！」「こんなにきれいにしてくれたの！」とたくさんほめて、感謝の気持ちを伝えていきましょう。少しぐらい失敗したとしても、掃除をしようとした意欲や努力をほめて、お子さんのやる気を高めていきましょう。掃除をして、感謝されることで、「人の役に立っている」という**自己有用感**を高めることにつながります。

#### ③ 掃除は無理なく続けられるものにする

お子さんが無理なくできる簡単な掃除から始めてみましょう。短時間でキレイになったことが分かりやすい場所がよいです。成長によって掃除の場所を、お子さんと一緒に決めていきましょう。



【おすすめの掃除】 窓ふき・鏡みがき